

作成年月日	平成 22 年 9 月 15 日
作成部局課名	企画県民部企画財政局 財 政 課

緊急に措置すべき事業の実施について

シカなどの増加する有害鳥獣による被害対策や、高速道路の無料化などの影響を踏まえた但馬地域を中心とした誘客促進対策など、当初予算編成後に生じた新たな財政需要等に対して、既定予算を活用し、以下の追加対策を講じる。

- 1 有害鳥獣対策の推進
- 2 誘客対策の促進
- 3 少子対策の充実
- 4 情報交流の推進
- 5 その他の緊急対策

なお、現下の厳しい経済・雇用状況に鑑み、国が打ち出した予備費を活用した経済・雇用対策への本県としての具体的対応や本県独自の経済・雇用対策を早急に検討し、必要な予算措置を行う。

1 有害鳥獣対策の推進

シカ捕獲緊急対策の実施（新規・拡充） 142,625 千円（全額一般）

農林業被害の軽減と被害地域拡大の防止を目的として、本年度の捕獲目標頭数は従来の 2 万頭を 1 万頭増やし 3 万頭としている。しかし、春、夏の天候不良の影響や目標に対する市町の予算措置が不十分である等の理由により、現状のままでは目標達成が困難な状況にある

このような状況を踏まえ、目標である 3 万頭捕獲を達成するため、緊急措置として、捕獲体制の強化を図り、県が主体的に捕獲を推進

捕獲目標頭数 （単位：頭）

区 分	事業期間	H21	H22 当初	H22 緊急対策	対 H22 当初 増 減
シカ捕獲専任班	10 月～3 月	0	0	5,000	5,000
狩猟期間	11/15～3/15	9,300	13,300	13,300	0
大量捕獲わな	通 年	0	2,000	1,000	1,000
	設置箇所の選定と捕獲方法の指導に時間を要し、目標達成が困難なため				
個体群管理事業	3/16～7/14	6,000	8,500	6,000	2,500
	春、夏の天候不良や、市町の予算措置が不十分であり、目標を下回っている状況にあるため				
一般有害	7/15～11/14	4,700	6,200	4,700	1,500
	有害個体の出没に応じて捕獲することから、目標達成が困難なため				
合 計		20,000	30,000	30,000	0

各区分における H22 当初から減とする理由を記載

県によるシカ捕獲体制の整備（新規） 118,266 千円（全額一般）

ア 県民局における「シカ捕獲対策チーム」の設置

シカ捕獲目標頭数が多い県民局内に「シカ捕獲専任班」の活動をコーディネートする「シカ捕獲対策チーム」を設置し、市町及び森林動物研究センターと一体となったシカ捕獲体制を整備

- ・ 設置県民局 6 県民局
北播磨（加東農林） 中播磨（姫路農林） 西播磨（光都農林）
但馬（豊岡、朝来農林） 丹波（丹波農林） 淡路（洲本農林）
- ・ 業 務 被害発生状況の把握、捕獲専任班の活動指導 等

イ 「シカ捕獲専任班」の編制

「シカ捕獲専任班」の設置を(社)兵庫県猟友会に委託し、計画的かつ迅速な捕獲活動を実施

- ・ 事業主体 県
- ・ 設置数 12 班（シカ捕獲頭数の多い県内 12 市町）
- ・ 編 制 8 人程度/班
- ・ 設置期間 6 ヶ月（平成 22 年 10 月～平成 23 年 3 月）
- ・ 実施方法 (社)兵庫県猟友会に委託
- ・ 人件費 (基本給) 150,000 円/月
(歩合給) 2,500 円/頭～6,500 円/頭

シカ捕獲推進事業の実施（拡充） 24,359 千円（全額一般）

ア シカ緊急捕獲拡大事業

狩猟者が狩猟期間中に行うシカ捕獲に対して、捕獲頭数に応じた報償費を支給することでインセンティブを喚起し、前年度比 4,000 頭の捕獲拡大を図る

- ・ 報 償 費
(H22 当初)
狩猟者 1 人につき 2 頭を超える捕獲頭数のうち、昨年度の捕獲実績を上回った捕獲数を対象に、2,500 円/頭を支給
(今 回)
狩猟者 1 人につき 2 頭を超える部分について下表の区分に応じて支給

区 分	報償費単価
3～5 頭目	2,500 円/頭
6～10 頭目	3,500 円/頭
11～15 頭目	4,500 円/頭
16～20 頭目	5,500 円/頭
21 頭目以上	6,500 円/頭

- ・ 負担割合 県 10 / 10

イ シカ大量捕獲用わな整備事業

シカ大量捕獲用わな（県で整備し、市町へ貸与）による捕獲を行う集落に対し、捕獲頭数に応じ、わな設置に伴う実費相当額（エサ代）を支援

- ・ 補助単価 600円/頭
- ・ 負担割合 県10/10
- ・ わな設置基数 大型10基、中型10基

サル被害緊急対策の実施（新規） 4,680千円（全額緊急雇用就業機会創出基金）

特定の市町に定着しているニホンザルに対し、効果的な追い払いを実施するため、「サル監視員」を設置

- ・ 事業主体 県
- ・ 対象市町 4市町
- ・ 活動内容 一部の個体に取り付けた発信機を利用して群れの動きを監視するとともに、群れが人里に近づいた場合は迅速な追い払い活動を展開
- ・ 実施方法 (社)兵庫県猟友会に委託

有害鳥獣捕獲用わな緊急整備の実施（拡充） 1,600千円（全額一般）

当初予算ではシカに限定している有害鳥獣捕獲用わな整備事業について、イノシシ用のわな整備費用にも補助を拡充

- ・ 対象経費 箱わな設置経費（ただし、狩猟期間中に設置したものは補助対象外）
- ・ 追加基数 イノシシ用箱わな40基
- ・ 負担割合 県1/2 市町1/2

イノシシ猟期の延長

イノシシ被害を防止するための緊急対策として、従来は2月15日までとしていたイノシシ猟期を1カ月間延長

- ・ イノシシ猟期 11月15日～3月15日（10月15日告示予定）

野生動物被害防護柵の設置

地域からの防護柵設置要望の増加に対し、国庫補助額が不足していることから、鳥獣被害防止特別措置法による特別交付税措置を最大限活用したスキームにより支援

【県単独事業負担割合（概念図）】

- ・ 地元負担15%の場合

特交措置 68%	県 12%	市町 5%	農家 15%
----------	-------	-------	--------

- ・ 地元負担なしの場合

特交措置 80%	県 13%	市町 7%
----------	-------	-------

（参考）国庫補助事業負担割合

国 50% (55%)	特交措置 28% (24%)	県 3.5% (3%)	市町 3.5% (3%)	農家 15%
-------------	----------------	-------------	--------------	--------

【参 考】

シカ捕獲緊急対策事業の全体像

(平成22年度当初の対策)

区分	狩猟期間(11/15~3/15)	狩猟期間外の捕獲(3/16~11/14)		シカ大量捕獲わなによる捕獲 (年間対応)
		個体群管理事業	一般有害	
目 標	30,000頭			
	13,300頭 (H21対比+4,000頭)	8,500頭 (H21対比+2,500頭)	6,200頭 (H21対比+1,500頭)	2,000頭 (H21対比+2,000頭)
対 策	猟友会への捕獲報償費支給 1人あたり2頭/年を上回った 頭数のうち、H21捕獲数を上回 る捕獲に対し支給 ・ 2,500円/頭	市町への補助 、 のいずれかにより補助し を上乗せ 日当制 4,800円/日+2,500円/頭 頭数制 銃器 16,000円/頭 わな 8,000円/頭 上乗せ 2,500円/頭 (H21目標を上回る捕獲実績のあつ た市町に対し支給)	市町事業(県支援措置なし)	わな購入・市町への貸出 県10/10で大量捕獲わなを整 備し、市町へ貸与 ・ 大型10基、中型10基
予 算	104,024千円			
	10,000千円	75,374千円	-	18,650千円



(今回の緊急措置)

区分	狩猟期間(11/15~3/15)	狩猟期間外の捕獲(3/16~11/14)		シカ大量捕獲わなによる 捕獲(年間対応)	シカ捕獲専任班 (10月~3月)
		個体群管理事業	一般有害		
目 標	30,000頭				
	13,300頭 (±0)	6,000頭 (2,500頭)	4,700頭 (1,500頭)	1,000頭 (1,000頭)	5,000頭 (皆増)
対 策	【拡充】 シカ緊急捕獲拡大事業 捕獲頭数に応じて段階 的に報償費を支給し、イン センティブを喚起 ・ 2,500~6,500円/頭 (2ページ -ア参照)	現行どおり	現行どおり	【拡充】 シカ大量捕獲用わな整備 事業 シカ大量捕獲用わなによ る捕獲を行う集落に対し捕 獲頭数に応じた実費相当額 (エサ代)を支援 ・ 600円/頭 (3ページ -イ参照)	【新規】 県民局における「シカ捕 獲対策チーム」の設置 捕獲体制の強化のため、 県民局内にシカ捕獲対策チ ームを設置 ・ 6県民局 (2ページ -ア参照) 「シカ捕獲専任班」の編制 「シカ捕獲専任班」の設置を (社)兵庫県猟友会に委託 ・ 人件費 (基本給)150,000円/月 (歩合給)2,500~6,500円/頭 (2ページ -イ参照)
予 算	246,649千円				
	33,759千円	75,374千円	-	19,250千円	118,266千円

2 誘客対策の促進

但馬地域への緊急誘客促進事業の展開（新規・拡充） 16,140 千円

（緊急雇用就業機会創出基金 8,140、地域振興基金 3,000、一般 5,000）

舞鶴若狭自動車道全線無料化の影響等により観光客落ち込みが予想される但馬地域について、今後のカニ・温泉・スキーシーズンに向けた即効性のある誘客促進対策を実施
イベント開催（単位：千円）

項目	事業内容	金額
但馬地域やる気観光地サポート事業の実施（拡充） 〔地域資源を活かした逸品、名所などの観光資源づくりを進める取組を支援〕	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象 観光協会、公益法人等 対象事業 先導的活性化事業 集客イベント 2次交通整備 補助率等 1/2 以内（上限 1,000 千円/年） 対象期間 平成 22 年 10 月～平成 23 年 3 月 	3,000
コウノトリ翔る「但馬まるごと感動市」の新展開	<p>但馬ならではの情報発信をコンセプトに地域主導の「参加・体験」「提案・交流」イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日 平成 22 年 11 月 13 日、14 日 ひょうご森のまつりと同時開催 場所 県立但馬ドーム 	(地戦費 対応)
山陰海岸ジオパークの推進 〔世界ジオパークネットワークの早期加盟を目指し、近隣府県との連携強化によりジオパークを活かした活動を展開〕	<p>世界ジオパークネットワーク会合への参加 世界ジオパークネットワーク加盟に向けた最終審査への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 時期 平成 22 年 10 月 1 日～10 月 5 日 場所 ギリシャ レスヴォス島 山陰海岸ジオパーク国際会議（仮称）の開催 普及啓発を図るための国際会議の開催 時期 平成 23 年 1 月頃 場所 兵庫県内 山陰海岸ジオパーク 110 kmウォークの開催 ガイドによる説明を盛り込んだウォーキングを開催し、全国に向けて情報発信 開催日 平成 22 年 10 月下旬～11 月上旬 2010 ジオパークフェスティバルの開催 ジオウォーク、体験イベント等の開催 開催日 平成 22 年 11 月 13 日、14 日 場所 但馬まるごと感動市会場 ほか 	(地戦費 対応)

PR事業

項目	事業内容	金額
但馬観光キャンペーン（キャラバン）の実施（新規） 〔但馬観光協議会を中心とした但馬の魅力をPRするキャラバン隊の派遣等にあたり人員を配置〕	<ul style="list-style-type: none"> 配置期間 平成 22 年 10 月～平成 23 年 3 月 配置人員 2 名 配置先 但馬観光協議会 キャラバン隊派遣先 大阪、京都、岡山、神戸、高松等の主要都市駅前など延べ 30 カ所 	8,140

(つづき)

項目	事業内容	金額
カニまつり 10 万人動員キャンペーン～但馬カニまつりリレーカーニバル～の実施 (新規) (観光客10万人動員を目指し、各地で行われるカニまつりの一体的PRを支援)	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象 但馬観光協議会 対象イベント <ul style="list-style-type: none"> 松葉ガニ初セリまつり (11月6日) かすみカニ場まつり (11月14日) 浜坂みなとカニまつり (11月20日) 竹野カニカニカーニバル(11月21日) 補助率 定額補助 	2,000
但馬広域観光の推進 (但馬観光協議会を核として広域観光事業の振興や交流人口の拡大を目指した事業を展開)	但馬ご当地グルメ大会の開催 地域ならではの食材を使った料理を発掘しPR <ul style="list-style-type: none"> 開催日 平成22年11月13日、14日 場所 但馬まるごと感動市会場 但馬まるごとキャンペーンの展開 関西圏や首都圏でのエージェント等に対するPR活動を展開 時期 平成22年10月～平成23年2月 場所 大阪、神戸、東京 など 	(地戦費 対応)
鉱石の道の魅力発信事業の展開 (鉱石の道エリアに点在する産業遺産を活用した新しいツーリズムを創出し、魅力ある地域づくりと連動させた施策を展開)	産業遺産サミット(仮称)の開催 産業遺産を活用した今後の魅力あるまちづくりや世界遺産に向けた夢を広く情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 平成22年11月21日 場所 生野マインホール 神戸キャンペーンの展開 但馬観光協議会等と連携し、神戸のエージェント等にPR活動を展開 時期 平成22年10月10日(予定) 	(地戦費 対応)

旅行会社等への働きかけ

項目	事業内容	金額
但馬地域へのツーリズムバス事業の実施(拡充)	ひょうごツーリズムバスについて重点的に但馬枠として拡充 <ul style="list-style-type: none"> 拡充台数 100台 	3,000
旅行エージェント等との連携事業の実施 (あいたい兵庫キャンペーンにおいて、JR西日本等と協力して各種旅行商品の造成及びPRを展開)	JR西日本との連携 「はまかぜ」新型車両導入PRイベントとの連携 西日本高速道路(株)との連携 高速道路SAでのガイドブックの設置 旅行エージェントとの連携 但馬内のツーリズム資源への案内による商品造成の推進	(あいたい 兵庫キャン ペーン 事業費 対応)

但馬方面への案内表示の強化

項目	事業内容	金額
舞鶴若狭自動車道IC周辺における但馬地域案内板の設置	但馬地域への誘客対策として、舞鶴若狭自動車道春日IC周辺において、但馬地域の入り口であることをアピールする案内表示を設置	(地戦費 対応)

ツーリズム促進強化事業の実施（新規・拡充）

13,000 千円

（地域振興基金 3,000、一般 10,000）

中国に対する個人観光ビザの要件緩和など、観光振興を一層推進する好機であることから、ひょうごツーリズム協会が行う誘客促進事業に対し補助を実施

海外からの誘客促進事業の実施

（単位：千円）

項目	事業内容	金額
ツーリズムバス事業（海外分）の展開（拡充）	中国を中心とする海外からのツアー誘致を図るため、ひょうごツーリズムバス（海外分）の枠を拡充 ・ 拡充台数 100 台	3,000
海外旅行エージェントの招聘	旅行ツアー商品の造成を図るため、海外から旅行エージェントを招聘し、県内の観光資源を案内するとともに、宿泊施設や食事場所なども含めたルートを提案 ・ 招聘エージェント（時期） 中国（10月下旬） ヨーロッパ（11月～12月）	150
海外マスメディアを活用したPR	海外メディア（TV制作会社、ガイドブック社等）の取材を誘致することによって、海外における「兵庫」の知名度向上を図るとともに、県への観光客誘致を促進 ・ 招聘メディア 中国 ・ 時期 10月中旬	300
各種広報媒体を活用したPR等	多言語サイトコンテンツの充実・強化 ひょうごツーリズム協会の多言語観光サイトについて、動画や特集ページなどの充実により外国人にとってより魅力的で有益な情報源となるよう強化 ・ 動画対象地 姫路、城崎、宝塚、神戸 など ・ 特集ページ 姫路城改修、温泉、神戸ビーフ 安藤忠雄建築、アニメ など 外国人観光客向け観光マップの作成 中国を中心とした多言語県内観光マップの作成 ・ 作成部数 5,000 部	4,920

国内向け観光プロモーション事業の実施

項目	事業内容	金額
首都圏からの誘客促進プロモーションの展開 等	観光客の誘致を促進するため、首都圏における旅行エージェント向けプロモーションや一般向けプロモーションなどを強化 ・ 時期 10月上旬～	4,630

3 少子対策の充実

ひょうご縁結びプロジェクトの展開（新規） 56,825 千円
 （全額緊急雇用就業機会創出基金）

ひょうご出会いサポート事業の一層の推進を図るため、緊急雇用就業機会創出基金を活用して、ひょうご出会いサポートセンター等における出会い支援活動を充実

ひょうご出会いサポートセンターでは、平成19年度からの3年半で成婚162組
 （出会い支援事業：92組、市町ネットワーク団体：70組）

事業内容

（単位：千円）

項目	事業内容	金額
地域出会いサポートセンターの新設（新規）	ひょうご縁結びプロジェクトの展開のため、地方青少年本部(県民局)ごとに地域出会いサポートセンターを新たに設置し、こうのとり出会いサポーターを配置 ・ 配置場所 地方青少年本部、青少年本部、本庁 ・ 配置人員 26名	48,425
お見合い紹介の開始（新規）	こうのとり出会いサポーターによるお見合い紹介希望者にお見合い紹介を実施する有料個人会員(はばタン会員)を新設し、地域出会いサポートセンター等における個別のお見合い紹介活動を実施 ・ はばタン会員の開設 会費 3,000円/年 身上書データシステム等の整備 こうのとり出会いサポーターによるお見合い縁結び活動を実施するためのシステム等の導入 こうのとり大使によるお見合い紹介 県民局単位に「こうのとり大使の会」を設置し、お見合い紹介、出会い支援事業のPR、情報交換等を展開	8,400
会員団体・個人会員や各種イベント等の展開	協賛団体・ネットワーク団体とのイベントの拡充 ・ 追加開催回数 100回 こうのとり大使による出会いイベントの拡充 ・ 追加開催回数 10回 婚活セミナーの拡充 ・ 追加開催回数 21回	(参加者負担)
職場交流会の本格実施	会員団体の職場交流会の活性化 会員企業の世話役とこうのとり出会いサポーターが連携して、各地域で職場交流会を開催	(参加者負担)

地域子育て創生事業の実施（新規・拡充） 123,067 千円
 （全額安心こども基金）

少子対策・子育て支援の充実のため、安心こども基金を活用した県地域子育て創生事業33事業を追加実施（別紙一覧）

4 情報交流の推進

ICT（情報通信技術）を活用した地域情報発信の支援（拡充） 15,968 千円
（全額国庫）

ICTを活用することによって地域を活性化していくため、地域情報を動画でわかりやすく発信する「ひょうごチャンネル」、地域貢献活動を支援する「ひょうごポイント」を充実

ひょうごチャンネルの充実 14,132 千円（全額国庫）

県民主体で制作した映像コンテンツの活用を図るため、動画配信の充実、人材育成支援などを実施

- ・ 映像コンテンツ制作などを指導するアドバイザーの派遣
- ・ 動画配信、コンテンツ管理などのサイトの充実

ひょうごポイントの活用支援 1,836 千円（全額国庫）

地域貢献活動を支援する「ひょうごポイント」について、ICTを利用したポイント活用手続きの簡素化を実施

- ・ ひょうごポイント用ICカード端末の設置 10台
- ・ アドバイザーの派遣

ホワイトスペース活用事業の実施（新規） 65,066 千円（全額国庫）

電波の有効利用による地域活性化のノウハウを蓄積するため、地上デジタル放送の空き周波数（ホワイトスペース）を有効活用した事業を実施

エリア限定ワンセグ放送の配信 40,209 千円（全額国庫）

商店街への誘客を図るため、地域限定の情報を配信するシステムを構築

- ・ 実施箇所 神戸市長田区

地域SNSとデジタルサイネージの連携 24,857 千円（全額国庫）

商店街にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、地域の動画コンテンツを配信

- ・ 設置箇所 神戸市長田区、佐用町
- ・ 設置台数 30台

「ひょうごツウ」の放送（新規） 3,740 千円（全額一般）

サンテレビジョンが10月から放送する新番組「おっ！サンなび」（毎週土曜日 12:00～12:55）の中で、県政に理解や親しみを深めてもらうための県提供コーナーを放送

- ・ 放送時間 月1回（最終土曜日）12:00～12:55 内で5分程度
- ・ 放送内容 さわやかトーク等の県政行事の様様、県立施設やイベントの紹介など

5 その他の緊急対策

- 暴力団排除対策の実施（新規） 19,137 千円（国庫 9,500、一般 9,637）
 社会からの暴力団排除機運を高め、社会全体で暴力団の孤立化を推進する「暴力団排除条例」の制定に併せ、効果的な資機材の整備及び広報活動を実施
- 防犯設備の整備 19,000 千円（国庫 9,500、一般 9,500）
 地域団体代表者等の自宅への防犯カメラの設置等
- 条例制定に伴う広報の実施 137 千円（全額一般）
 条例制定にあたり、特に周知を図る必要がある建設業者、不動産業者等に対するチラシの配布

- 自殺対策のための電話相談窓口の充実（新規・拡充） 3,457 千円
 （全額自殺対策強化基金）
- 自殺予防週間の取組を契機に「いのちと心のサポートダイヤル」について、短縮ダイヤルの導入と開設時間の延長により充実した相談体制を構築
- ・ 短縮ダイヤルの導入
 電話番号 # 7 5 0 0
 - ・ 土日祝日の 24 時間相談体制の構築
 開設時間 土日祝日 24 時間、平日 18 : 00 ~ 翌日 8 : 30
 開始日 平成 22 年 10 月 1 日

対策の規模

（単位：千円）

区 分	追加需要額	追加需要への対応		
		国 庫	特 定	一 般
有害鳥獣対策の推進	148,905	0	4,680	144,225
誘客対策の促進	29,140	0	14,140	15,000
少子対策の充実	179,892	0	179,892	0
情報交流の推進	84,774	81,034	0	3,740
その他の緊急対策	22,594	9,500	3,457	9,637
計	465,305	90,534	202,169	172,602

地域子育て創生事業一覧

子どもを産み育てる

事業名		内 容	金 額
1	こどもの歯の健康づくり支援事業（新規）	子どもの歯の健康づくりを内容とした啓発媒体の作成及び歯の健康づくり教室の開催	3,060
2	こどもの生活習慣改善事業（新規）	愛育班の声かけ訪問にあわせて、子どもの生活習慣についてのアンケート調査の実施、調査結果の周知による子どもの生活習慣改善の推進	7,222
3	父子家庭支援事業（新規）	父子家庭への各種支援制度等を紹介した小冊子の作成	674
4	乳幼児親子いきいきリズム教室（新規）	親子、子ども同士、親同士がよりよい関わりを築くための専門家による教室の開催	687

子どもの成長を支える

事業名		内 容	金 額
5	施設入所児童等への特別支援事業（新規）	児童福祉施設に入所する父母のない児童等で子ども手当の支給対象とならない児童に対する子ども手当相当額の特別支援の実施	29,952
6	発達障害児等相談支援事業（新規）	清水が丘学園における発達相談に必要となる検査器具等の購入	6,086
7	放課後児童・私立幼稚園児交流推進事業（拡充）	私立幼稚園の園舎等を活用した小学生の下校時の安全安心な居場所づくりの実施及び小学生と園児との交流推進事業の実施	10,963
8	就学前外国人児童支援を考える研修会開催事業（新規）	就学前外国人児童の日本語習得支援や受け入れの留意点等についてのミニシンポジウム等の開催	400
9	外国人児童教育学習資材・図書充実事業（新規）	地域の定住外国人コミュニティや母語教育支援団体等への母語・日本語教材等の提供	4,725
10	母語教育支援研修会開催事業（新規）	母語教育に携わるNGO等と連携した母語教育関係者を対象とする研修会の開催	434
11	母語教室支援モデル事業（新規）	外国人児童生徒を対象に地域で行う母語教室に対する支援の実施	210

豊かな人間性を育む

事業名		内 容	金 額
12	子どもの遊び場・若者の居場所と大学との連携による人材育成事業（新規）	大学の教育学科等と連携し、「ひろば」を活用した教育プログラムの開発等を推進	2,113
13	こどもの館体験学習ライブラリー事業（新規）	子どもたちの豊かな感性や創造力を育むための図書やおもちゃ、上映装置の更新	2,400
14	子育て応援協定に基づく子ども測量体験事業（拡充）	兵庫県測量設計業協会と連携し、まちづくりや防災における測量の大切さを学ぶための地図づくり及び測量体験の実施	1,796

(つづき)

	事業名	内 容	金 額
15	親子のための「イーブンあつたか広場」実施事業(新規)	子どもの豊かな心を育むための紙芝居お楽しみひろば等の開催	1,591
16	兵庫人もっとわんぱくプラン(新規)	子どもが安心して活動できる「わんぱくフィールド」の整備及びスポーツによる3世代交流や環境学習などの展開	2,312
17	親子ふれあい自然体験事業(新規)	自然とふれあいながら親子での活動を通じて親子の絆を深める体験事業の実施	2,289
18	身近な生き物観察を通じての子育て推進事業(新規)	幼児指導の専門家による保育所・幼稚園の先生等に対する身近な生き物観察指導実践講座の開催	1,266
19	外国人児童生徒向け教育関連資料等整備事業(新規)	日本語指導が必要な外国人児童生徒のための図書や資料の整備及び保護者等向けの就学支援ガイドブックの作成	887

若者の自立を支える

	事業名	内 容	金 額
20	ひょうご出会いサポートセンター強化事業(新規)	こうのとりのり大使への情報提供を強化するとともに、センターをPRするためのパンフレット及びDVD等の作成	2,500
21	未来の親のための「イーブンレクチャーピクニック」実施事業(新規)	将来、親となる自信をつけるための「親学び」などの心構えを学習できる「イーブンレクチャーピクニック」の開催	1,248
22	キャリアセンター子育て支援事業(新規)	就業と結婚、出産、子育てを両立させるためのプログラムの開発	2,277

子育てと仕事の両立を支援する

	事業名	内 容	金 額
23	少子高齢化時代における仕事と子育てを両立する女性を支援する事業(新規)	企業経営者の立場から仕事と子育ての両立の重要性、女性の働き方等について情報発信するシンポジウムの開催	4,000
24	男女とも子育てを両立できる職場環境づくり推進事業(新規)	政労使各代表による仕事と生活の調和と子育て支援に関するフォーラム(座談会、鼎談、記念講演)の開催	987

良きおせっかい社会による家庭応援

	事業名	内 容	金 額
25	乳幼児健康診査指導者マニュアル作成事業(新規)	虐待予防の観点や子育て支援情報等の収集によるマニュアルの作成	4,901
26	ひょうごの食卓コミュニケーション推進事業(新規)	郷土食の伝承を通じた、世代交流、食文化の継承のためのキャンペーンの展開	3,245
27	新ひょうご子ども未来プラン推進に向けた協働事業(新規)	平成22年3月に策定した新プランをリーフレットやパネルで周知啓発	3,208

(つづき)

事業名		内 容	金 額
28	「ひょうごあそびの伝承プログラム」の普及事業 (新規)	地域と家庭の子育て力向上のための「伝承あそびのひろば」の整備及びDVD版プログラムの制作	1,594
29	子育て出前相談事業(新規)	育児不安に悩む若い親に対する巡回相談等の実施	3,838
30	生活創造情報プラザ「子育て応援団」創設事業(新規)	子育て支援グループのつながりと活動の幅拡大のため、グループの集合体である「子育て応援団」の立ち上げ及び講座の実施	363
31	DV被害防止対策推進事業 (新規)	配偶者から避難している被害者等に対するリーフレットの作成	210
32	防犯力強化による地域子育て支援事業(新規)	「子どもを守る110番の家」実施者に配布する活動マニュアル・対応者要領の作成及び研修会の実施	6,221
33	子どもの安全確保のための青色パトロール活動強化事業(新規)	青色防犯パトロール活動活性化のための活動用品の購入	9,408
計		(3 3 事業)	123,067